

令和6年第1回
組合議会定例会議事録

招集日 令和6年2月22日

招集場所 クリーンプラザふじみ大会議室

ふじみ衛生組合議会

令和6年第1回 組合議会定例会議事録

招 集 日 令和6年2月22日（木）

招集場所 クリーンプラザふじみ大会議室

1 出席議員（10人）

1番 大野 祐 司	2番 澤 井 慧
3番 松野 英 夫	4番 丸 田 絵 美
5番 宮 本 和 実	6番 大 倉 あき子
7番 谷 口 敏 也	8番 野 村 羊 子
9番 土 屋 けんいち	10番 大 城 美 幸

2 欠席議員（0人）

3 出席説明員

管 理 者	河 村 孝	副 管 理 者	長 友 貴 樹
参 与	馬 男 木 賢 一	参 与	伊 藤 栄 敏
事 務 局 長	荻 原 正 樹	事 務 局 次 長	上 野 洋 樹
総 務 課 長	鷹 林 勝	施 設 課 長	澤 田 忍
施 設 課 長 補 佐	山 賀 則 夫	総 務 主 幹	川 鍋 章 人
総 務 主 幹	田 波 利 明	清 掃 主 幹	仲 雅 広
清 掃 主 幹	三 ツ 木 吉 和	人 事 主 幹	田 中 博 文
文 書 主 幹	富 永 幹 雄	財 務 主 幹	伊 藤 恵 三
契 約 主 幹	池 田 宏 太 郎	会 計 管 理 者	古 園 純 一
監 査 事 務 局 長	荒 川 浩 一	出 納 主 幹	

午前 9 時 56 分開会

○議長（大野祐司君） おはようございます。これより令和 6 年第 1 回ふじみ衛生組合議会定例会を開会いたします。

直ちに本日の会議を開きます。

日程第 1 会期の決定

○議長（大野祐司君） 日程第 1、会期の決定を議題といたします。

お諮りいたします。会期は本日 1 日といたします。これにご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（大野祐司君） ご異議なしと認めます。よって、会期は本日 1 日とすることに決定いたしました。

日程第 2 会議録署名議員の指名

○議長（大野祐司君） 続きまして、日程第 2、会議録署名議員の指名を行います。

会議録署名議員は、会議規則第 36 条の規定により、2 番澤井慧議員及び 8 番野村羊子議員を指名いたします。

日程第 3 管理者報告

○議長（大野祐司君） 日程第 3、管理者報告に入ります。

それでは、河村管理者、お願いいたします。

河村管理者。

○管理者（河村孝君） 皆さん、おはようございます。

本日は、両市の定例議会を控えまして、何かとご多用の時期でございますが、議員の皆様におかれましては、先月の行政視察に続きまして、令和 6 年第 1 回ふじみ衛生組合議会定例会をお願い申し上げまして、誠に恐縮に存じます。

それでは、早速報告に入らせていただきます。

本日、ご報告申し上げます案件は、事項が 4 件でございます。

ご報告の第 1 件目は、ごみ処理実績についてでございます。なお、重量につきましては、小数点以下を四捨五入してご報告させていただきますので、ご了承をお願い申し上げます。

初めに、資料 1 をご覧ください。

クリーンプラザふじみの令和5年10月から12月までの処理実績でございます。この3か月の間の総搬入量は1万8,598トンでございます。前年度と比較いたしますと83トン、0.4%の減となっております。

その内訳といたしましては、三鷹市が7,251トンで構成比44.1%、前年度比112トン、1.5%の減、調布市が9,182トンで構成比55.9%、前年度比で26トン、0.3%の減となっております。

また、リサイクルセンターにおける処理後の可燃性残渣の搬入につきましては、1,795トンで前年度比84トン、4.9%の増となっております。そのほか広域支援に伴い、小平市の可燃ごみを371トン受け入れました。

続きまして、資料3をご覧ください。

リサイクルセンターの令和5年10月から12月までの処理実績でございます。この3か月間で総搬入量4,299トンでございます。前年度と比較いたしますと64トン、1.5%の減となっております。

その内訳といたしましては、三鷹市が2,101トンで構成比48.9%、前年度比で41トン、1.9%の減でございます。調布市が2,198トンで構成比51.1%、前年度比23トン、1.0%の減となっております。

ご報告の第2件目は、視察・見学の状況についてでございます。

資料6をご覧ください。

クリーンプラザふじみの令和5年4月から12月までの視察・見学者数でございます。この9か月の間の来場者数は63団体、8,922人で、前年度と比べまして3団体、1,406人の増となりました。

これは、表の欄外4にございますとおり、多くの皆様にふじみまつりにご来場いただいたことによるものでございます。また、5)のとおり、12月9日に煙突登り見学会を開催いたしまして、16人の方にご参加いただきました。今後も両市の児童生徒及び市民の皆様に向けた環境学習・啓発活動に取り組んでまいります。

ご報告の第3件目は、ふじみまつりについてでございます。

昨年11月19日に第11回ふじみまつりを開催いたしました。今回は、飲食関連の模擬店の出店を再開し、また、天候にも恵まれ、過去最高となる4,705人の皆様にご参加いただきました。今回も多くの学生ボランティアの参加があり、無事故で盛況のうちに実施することができました。組合議員の皆様のみならず、両市議会の議員の皆様におかれましても、

お忙しい中をお立ち寄りくださいました。この場を借りて、お礼申し上げます。ありがとうございました。

ご報告の第4件目は、リサイクルセンターの更新についてでございます。

資料7-1をご覧ください。

令和5年度から令和6年度のリサイクルセンター更新に係るスケジュールでございます。現在、中央棟を解体するための準備といたしまして、東棟・北棟改造工事及び仮設管理棟等賃貸借の契約に向けまして、手続を進めているところでございます。

なお、東棟・北棟改造工事につきましては、議会の議決に付すべき契約となります。次回、第2回定例会に議案として提出させていただきますので、よろしくお願い申し上げます。

また、新施設の事業者選定につきましては、今月27日に入札公告を行い、10月中に落札者を選定する予定でございます。しかしながら、昨今、建設費が高騰しており、入札が不調になる可能性もございます。その場合は、対応策や今後の進め方などにつきまして、議会に情報提供をさせていただくとともに、議員の皆様のご意見を伺いながら進めてまいりたいと考えておりますので、よろしくお願い致します。

私からのご報告は以上でございます。

なお、ごみ処理実績及びリサイクルセンターの更新につきまして、事務局長より補足説明をさせていただきますので、よろしくお願い致します。

○議長（大野祐司君） 荻原事務局長。

○事務局長（荻原正樹君） おはようございます。私からは、管理者報告のうち、ごみ処理実績及びリサイクルセンターの更新について補足をさせていただきます。

まず初めに、資料1をご覧ください。

クリーンプラザふじみの令和5年10月から12月までの3か月間の状況でございます。

搬入実績につきましては、前年度と比較いたしまして、総量で0.4%の減となりました。

三鷹市、調布市とも微減傾向が続いており、新型コロナウイルス感染症前の搬入量とほぼ同量となっています。

また、この3か月間で1万6,845トン焼却処理いたしまして、熱回収による発電では、電力事業者に6,239メガワットアワーを1億2,600万円余で売却いたしました。また、処理に伴う焼却灰等1,734トンにつきまして、エコセメント化施設等に搬出いたしました。

次に、資料2でございます。

令和6年度負担金の計算の基礎となるクリーンプラザふじみの令和5年1月から12月までの1年間の状況でございますので、ご覧いただければと存じます。

続きまして、資料3をご覧ください。

リサイクルセンターの令和5年10月から12月までの3か月間の状況でございます。

搬入実績につきましては、前年度と比較いたしまして、総量で1.5%の減となりました。

リサイクルセンターの搬入量につきましても、三鷹市、調布市とも微減傾向が続いており、新型コロナウイルス感染症前の搬入量とほぼ同量となっています。

なお、調布市のペットボトルが26トン、12.0%の増となっておりますが、これは、年末に特別収集を実施したことによるものでございます。

次に、搬出実績でございます。搬出実績につきましては、まず左側の有償・無償の資源物から申し上げます。総量は、前年度と比べ102トン、4.6%の増となっております。この要因は、16番の小型家電が令和5年10月から処理費用を支払う逆有償から有価で売却することができる有償となったことによるものでございます。

続きまして、右側の逆有償の資源物と搬出の欄をご覧ください。前期同様、水銀を含む有害廃棄物、廃消火器などの処理困難物は、逆有償での処分となっています。

なお、小型家電が有償となったことから、総量は前年度と比べ121トン、76.9%の減となっています。

また、プラスチック類を含む可燃性残渣1,795トンにつきましては、クリーンプラザふじみにおいて全て焼却処理し、熱回収をいたしました。

次に、資料4でございます。令和6年度負担金の計算の基礎となるリサイクルセンターの令和5年1月から12月までの1年間の状況でございますので、ご覧いただければと存じます。

続きまして、資料5をご覧ください。有価物品等の価格の推移でございます。

令和5年第4回定例会後の状況についてご説明申し上げます。1月1日以降の資源物売却に係る単価の競争入札を12月18日に実施いたしました。その結果、鉄類につきましては、3番の特A鉄及び4番A鉄が1,430円、2.6%の上昇となりました。また、アルミ類につきましては、6番の特アルミが1,100円、0.5%の上昇、7番のアルミが5,500円、3.0%の上昇となりました。金属資源市場は、高値圏で横ばいの状況が続いています。今後も市況を見ながら、適切かつ有利な価格で売却できるよう努めてまいります。

続きまして、資料7-1をご覧ください。リサイクルセンター更新に係る主なスケジュー

ールでございます。

現在のスケジュールでございますが、東棟・北棟改造工事及び仮設管理棟等の整備が12月中に完了する予定でございます。完了後、引っ越しを行い、中央棟が解体できる状態となります。

来年1月早々には、土壌汚染調査を実施する予定ですが、万一、土壌が汚染されている場合は、汚染土壌の入替え等を行った後、中央棟を解体することになりますので、スケジュールの見直しが必要となってまいります。

次に、東棟・北棟改造工事と新施設の事業者選定の関係についてでございます。

現時点では、新施設の令和10年度中の稼働を目標としており、スケジュールに時間的な余裕がないことから、東棟・北棟改造工事と新施設の事業者選定を同時並行で進める予定でございます。

東棟・北棟を改造したにもかかわらず、事業者選定が遅延したときの対応でございますが、中央棟を解体しなければ、東棟で不燃ごみ、中央棟でプラスチック及びペットボトル、北棟でびん・缶及び有害ごみを処理することが可能であり、ごみ処理業務に大きな影響を与えることはないと考えております。

続きまして、資料7-2をご覧ください。事業者選定スケジュールでございます。

2月27日に入札公告を行います。8月に民間事業者からの提案書及び入札書を受け付け、10月中に落札者を選定する予定でございます。

続きまして、資料7-3をご覧ください。入札公告（案）の概要でございます。

初めに、1、入札に付する事項の（3）事業の概要でございます。処理能力は5時間当たり95トンで、現在の施設と比べますと11.1トン大きくなります。処理対象物は、現在と同じでございます。

事業方式は、DBM+運転支援方式で、Dデザイン（設計）、Bビルド（建設）、Mメンテナンス（維持管理）と運転支援を一括発注する方法でございます。

事業期間は、建設期間が契約締結日の翌日から令和10年9月30日まで、運営期間が令和10年7月1日から令和30年6月30日までの20年間となっております。

なお、実施計画の段階では、令和9年度末竣工、令和10年度当初からの稼働開始を予定しておりましたが、建設業においても週休2日制が導入されたこと、また、機材や部品の調達に時間を要している状況から、建設期間、運営期間とも、後ろ倒しをいたしました。

次に、2、予定価格でございます。

昨年の第4回定例会でお認めいただきました令和5年度ふじみ衛生組合補正予算（第1号）のとおり209億円でございます。

次に、3、事業者の選定方法でございます。

技術提案と価格を総合的に評価する総合評価一般競争入札を採用いたします。

最後に、4、スケジュールでございます。

資格審査申請書類提出期限が3月29日までとなっております。したがって、この時点で全く申込みがなかった場合は入札不調となりますので、先ほど管理者がご報告いたしましたとおり、対応策や今後の進め方などにつきまして、情報提供をさせていただきたいと存じます。

私からのご報告は以上でございます。

○議長（大野祐司君） 管理者からの報告は以上でございます。

ただいまの管理者報告につきまして、質疑のある方は挙手をお願いいたします。

野村議員。

○8番（野村羊子君） ご報告ありがとうございます。幾つか確認のための質問をさせていただきます。

ごみ処理実績ですけれども、10月から12月のところで、実績がコロナ前にほぼ戻ったというふうな話でした。年間を通してこれはほぼ戻った、あるいはこれが今後、来年度の根拠になるということですので、見通しとしてコロナ前と同じような形で推移していくというふうにこの間の数字から考えているのかどうかということの一つ確認したいと思います。1つ1つお願いします。

○議長（大野祐司君） 荻原事務局長。

○事務局長（荻原正樹君） ごみ処理実績でございますが、今回は10月から12月の実績をお示ししましたが、年間を通じてコロナ前の状況に戻っているような状況でございます。

今後の見通しでございますが、三鷹市、調布市とも人口は微増しておりますが、市民の皆様の減量の意識が高いので、引き続き同量程度で推移していくというふうに推定しているところでございます。

○議長（大野祐司君） 野村議員。

○8番（野村羊子君） ありがとうございます。

それから、リサイクルセンターのほうのごみ処理実績で、小型家電等が有償になってちよっとほっとはしますけれども、この処理困難物、10月から12月実績では増えていますけ

れども、これは何かそういう集中PRみたいなことをしたからなのか、年末だからこういうものが出てきたというふうに考えるのか、主にさっき消火器等とおっしゃっていましたがけれども、それが集まってきたのかというふうなことで、これに関しては結局どのような処理をしたのかということを確認させてください。

○議長（大野祐司君） 荻原事務局長。

○事務局長（荻原正樹君） 処理困難物でございますが、一定量たまりますとまとめて搬出するということですので、その搬出のタイミングによりまして増えたり減ったりするというので、昨年度に比べまして特別増えているということはありません。

これですけれども、これらの品目ですが、本来、市民の皆様には出してはいけない品目で、両市のリサイクルカレンダー等にも周知をさせていただいているところですが、残念ながらこれだけ入ってきているということでございます。

これら、入ってきたものの処理でございますが、ふじみ衛生組合では処理することができませんので、産業廃棄物として処理をさせていただいております。

以上です。

○議長（大野祐司君） 野村議員。

○8番（野村羊子君） ありがとうございます。どうしても紛れて入ってきたりとか、そういうことが分かっていないからかというふうなことですけれども、リサイクルカレンダー、三鷹市も多分調布市も同様に書いてあると思いますが、市では集められないとしたら、どこへ持っていけば、どういうふうにしたら処理できるのかということまできちんと例示してあるのかどうか、どこへ電話すればいいとかか、あるいはそれについてどれくらい費用がかかるかというふうな情報提供は市民されているでしょうか。

○議長（大野祐司君） 荻原事務局長。

○事務局長（荻原正樹君） 例えば、廃消火器であれば、どこどこへ電話をしてください、費用は幾らぐらいですということがリサイクルカレンダーのほうには掲載されております。

○議長（大野祐司君） 野村議員。

○8番（野村羊子君） 本当に意識してくださる方には、だから、それで対応できていると思いますが、やはりその辺りの情報提供というかPRというか、ふじみのニュースでも載ってはいるのは分かっていますが、やはりその辺り両市に対して、より丁寧に市民に周知していただくような、そういうこともふじみとして働きかけをしていくことも

大事かなと思いました。

それで、リサイクルセンター更新のスケジュールですけれども、今、入札不調の可能性をかなり言及されていました。今回の予定価格では、やはり難しいという判断が今の時点であるのかどうか、ちょっと予測だから難しいんですけれども、どのようにそれを考え、今のような説明になっているのかということをおそらく確認したいと思います。

○議長（大野祐司君） 荻原事務局長。

○事務局長（荻原正樹君） 建設費でございますが、先ほど管理者からご報告いたしましたとおり、近年、急激に上がっているということで、見積りを取るたびに金額がどんどん上がっているような状況でございます。

私どもといたしましては、直近の見積りを参考に、一定金額を算出いたしまして、今回、予算として計上させていただいておりますので、その見積りを取った段階と、今回、入札をかける段階でどのぐらいまた価格が値上がりしているのか、その辺が入札が不調になるかどうかのポイントになると思っています。その部分については私どものほうで分かりませんので、入札の結果を待ちたいというふうに考えております。

○議長（大野祐司君） 野村議員。

○8番（野村羊子君） ありがとうございます。本当にどう動くかですけれども、今回一括で建設工事と維持管理で、その後の部分20年間と一括です。バランスとして、このクリーンプラザを建てる時も想定建設費用と年間20年か30年だとか、そのバランスで考えて、その中で収めるようなことを考えて入札されてきたのかなというふうに思ったりもします。この辺のバランスの中でやりくりができるようなことというものを事業者のほうで考えてくれると何とかなるのかもしれない、ならないのかもしれない。その辺りのどのような見積りをこちらのほうではしているのかというのはありますか。建設費用と20年間の部分の費用のバランスです。お願いします。

○議長（大野祐司君） 荻原事務局長。

○事務局長（荻原正樹君） 建設費と20年間の運営費の内訳でございますが、これは前回の定例会でご報告いたしましたとおり、建設費が136億4,000万円、136億4,000万円。運営費が20年間で72億6,000万円、72億6,000万円、合計209億円でございます。ただ、民間事業者のノウハウを活用するということになりますと、この金額に縛られることはないのかなと思っております。やはりトータルで一番安い提案をしていただくということが非常に大事だというふうに思っていて、例えば、しっかりした施設を造ってメンテナンス

フリーでいこうというような提案でも結構ですし、建物については、そこそこのものを造って、しっかりメンテナンスをかけていこうというような提案でもいいと思っております。そこは民間事業者のノウハウを最大限に活用して提案していただきたいというふうに考えているところでございます。

○議長（大野祐司君） 野村議員。

○8番（野村羊子君） 分かりました。その比率の中でその事業者がどのように考えていくかということですが、やはり市民としては、建物があれでも途中で維持管理、修繕とかの費用がなくなって追加で求められるみたいなことではなく、ちゃんとしっかり見通しを立てて今後の人手の話なんかも出てきますから、そういうふうなことをしっかりやったような提案をただ単に安いからではなくということをしっかり選定していただければと思います。ありがとうございます。

○議長（大野祐司君） ほかに質疑ございませんか。よろしいですか。

（「なし」の声あり）

○議長（大野祐司君） 以上で質疑を打ち切ります。

以上4件は、報告のとおりご了承をお願いしたいと思います。これにご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（大野祐司君） ご異議なしと認め、管理者報告のご了承をお願いいたします。

日程第4 議案第1号 ふじみ衛生組合一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の専決処分について

○議長（大野祐司君） 次に、日程第4、議案第1号、ふじみ衛生組合一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の専決処分についてを議題といたします。

事務局に議案の朗読をさせます。

上野事務局次長。

（事務局朗読）

○議長（大野祐司君） 朗読は終わりました。

続いて、管理者から提案理由の説明を求めます。

河村管理者。

○管理者（河村孝君） 議案第1号、ふじみ衛生組合一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の専決処分につきまして、提案理由の説明を申し上げます。

当組合職員の給与改定につきましては、従来から三鷹市に準じて実施してきたところでございますが、三鷹市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例が三鷹市議会におきまして、令和5年11月30日に可決され、同日から施行されました。

これに伴いまして、ふじみ衛生組合一般職の職員の給与に関する条例を改正する必要が生じましたが、議会を招集する時間的余裕がないことが明らかでございましたので、地方自治法第292条において準用する同法第179条第1項の規定に基づきまして、当該条例を令和5年11月30日付で専決処分いたしました。

改定の主な内容でございますが、給料表を改め、給料月額を平均0.89%引き上げるとともに、初任給の引上げを行いました。また、勤勉手当の支給率につきましては、100分の107.5を100分の112.5とし、期末・勤勉手当の年間支給率を100分の455から100分の465に引き上げます。なお、勤勉手当の特例といたしまして、令和5年度の支給に当たっては、12月期の支給率を100分の117.5とします。

この条例は、令和5年11月30日から施行し、給料表の改定については令和5年4月1日から適用いたしました。

提案理由の説明は以上のとおりでございます。どうぞよろしくご審議のほどお願いいたします。

○議長（大野祐司君） これより質疑に入ります。質疑はありますか。

野村議員。

○8番（野村羊子君） 市の職員、三鷹市も多分調布市もそうでしょうけれども、東京都に準じて人事委員会の勧告に従って給与改定をすると、それに合わせてふじみのほうもするというふうなことですけれども、一般職に関して。だから、同様に月例給とボーナス、勤勉手当を上げるというふうなことです。

三鷹市においては、非常勤特別職や期末手当の改正があり、そして、一方で、非正規職員については一切ないというふうな形で行われました。

ふじみにおいて、非正規の人たちについて、この一般職が上がることに伴っての変化というものは考えていないのか、このときには一切やはりやらされていないわけですがけれども、その辺についてちょっと考え方を聞きたいと思います。

○議長（大野祐司君） 荻原事務局長。

○事務局長（荻原正樹君） 提案理由で申し上げましたとおり、ふじみ衛生組合につきましては、三鷹市に準じておりますので、基本的には三鷹市と同じ内容で全て改定をさせていただいているところでございます。ふじみ衛生組合独自に改定するというところは今のところ考えておりません。

○議長（大野祐司君） よろしいですか。ほかに質疑はございませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（大野祐司君） 以上で質疑を打ち切ります。

討論を省略して採決したいと思います。

これに異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（大野祐司君） ご異議なしと認めこれより採決いたします。

議案第1号、ふじみ衛生組合一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の専決処分について、原案のとおり承認することに賛成の方の挙手を求めます。

（賛成者挙手）

○議長（大野祐司君） 挙手多数と認めます。よって本案は原案のとおり承認されました。

日程第5 議案第2号 令和5年度ふじみ衛生組合補正予算（第2号）

○議長（大野祐司君） 続きまして、日程第5、議案第2号、令和5年度ふじみ衛生組合補正予算（第2号）を議題といたします。

事務局に議案の朗読をさせます。

上野事務局次長。

（事務局朗読）

○議長（大野祐司君） 朗読は終わりました。

続いて、管理者から提案理由の説明を求めます。

河村管理者。

○管理者（河村孝君） 議案第2号、令和5年度ふじみ衛生組合補正予算（第2号）につきまして、提案理由の説明を申し上げます。

補正予算（第2号）の概要でございますが、歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ2

億1,019万9,000円を増額し、総額を21億5,673万9,000円とするものでございます。

その内訳は、歳入において繰越金を3億6,475万8,000円増額し、この繰越金の精算等に
伴い、分担金及び負担金を2億6,475万8,000円減額するものでございます。また、施設整
備基金積立金利子及び可燃ごみ処理施設売電収入の増が見込まれるため、財産収入を19万
9,000円、諸収入を1億1,000万円それぞれ増額するものでございます。

歳出におきましては、可燃ごみ処理施設売電収入の増に伴い、事業費の売電収入相当額
委託料を1億1,000万円増額するとともに、繰越金の精算等に伴い、総務費の施設整備基
金積立金を1億19万9,000円増額するものでございます。

提案理由の説明は以上のとおりでございます。どうぞよろしくご審議のほどお願い申し
上げます。

○議長（大野祐司君） これより質疑に入ります。質疑はありますか。

野村議員。

○8番（野村羊子君） それでは、幾つか確認のための質問をさせていただきます。

今回、繰越金がありますけれども、これは例年と比べて多いか少ないかというのが1点。
3億6,475万8,000円で、それに対して売電収入の増が見込んでいますけれども、これも例
年と比べてどうなのか。これは、予算に対してより多いと、多少は上振れを見込んだ予算
というふうになっているのか、あるいは可燃ごみ処理施設において使用する電気料が増え
たからこれだけになっていくのか、あるいは売る電気が増えたからこういうことになって
いるのかという、この原因をもう1回ちょっと確認したいと思います。

さらに、3億の繰越金がありながら施設積立ては1億にとどまると。今後、さらに建設
費の高騰が見込まれている中で、積立金の増というものは考えられなかったのか、これは
条例等でこの金額というのが規定されているのか、以上、確認します。お願いします。

○議長（大野祐司君） 荻原事務局長。

○事務局長（荻原正樹君） まず1点目の繰越金の関係でございますが、今年度につき
ましては、例年度よりも多いというのが実績でございます。昨年と比べますと1億円程
度多くなっているというような状況でございます。

2点目でございます。売電収入の増という点でございますが、この理由は、売電すると
きの電気の単価が上昇しているということでございまして、その単価の上昇に伴って売電
収入が増えるということでございます。

なお、昨年度との比較でございますが、昨年度につきましては、補正予算は7,000万円

でございました。そして、今年度につきましては、補正予算は今申し上げましたとおり1億1,000万円ということでございますので、昨年度に比べましても、上がっているということがお分かりいただけるかなというふうに思っているところでございます。

3点目でございます。基金の積立てでございますが、現在、三鷹市、調布市、ふじみ衛生組合3者で合意しておりますのが年1億円ということでございます。これにつきましては、三鷹市、調布市、ふじみ衛生組合3者のそれぞれの財政状況もでございますので、今後増やすのかどうかにつきましては、3者で協議をさせていただきながら検討してまいりたいというふうに考えているところでございます。

○議長（大野祐司君） 野村議員。

○8番（野村羊子君） やはり繰越しが多かったものをどのように充てていくのかといったときに、大体その分賦金を減らして返していくというふうな、三鷹市もその金額がある程度返ってくることを前提に補正を組むみたいなのをしていますけれども、やはり今、現状では、リサイクルセンター更新ということにふじみとしては注力すべきで、その辺は、変な言い方ですけれども、合意というのであれば変更は可能なわけですから、そこはもっとしっかり検討すべきだったのではないかと思います。そういうことまで今回検討しきらなかったのかどうかというのも再度確認します。

○議長（大野祐司君） 荻原事務局長。

○事務局長（荻原正樹君） 今回、変更しなかった理由といたしましては、建設につきましては、国の循環型社会形成推進交付金が3分の1出ること。また、残りの部分についても90%起債ということで、借入れができますので、一般財源は建設期間中には大きく増えるようなことはございません。

起債を組みますと、そのあと起債を返さなければいけないということがございますので、逆に後年度負担のほうが大きくなりますから、そういった長期的な視点に立って考えていきたいというふうに考えているところでございます。

○議長（大野祐司君） 野村議員。

○8番（野村羊子君） やはり起債で利子がついて、とにかく長期的に対応することが必要ではありますけれども、建設費用の起債というものが、その建設したものが使用される期間の市民の負担をお願いするというふうな、そういうふうな形で焼却を考えていくということからすれば、それはそれで一つの考え方ではありますけれども、やはり大きなものを建てるときに、それに対してちゃんとか構えていくというふうな姿勢がもう少しあ

ってもいいのかなと思いました。今のような理由で結局今回はしなかったと、来年度どう
いうふうになっていくのか、それはまた諸収入等の状況によって変わるとは思いますけれど
も、やはりその点はやはりもう少し検討すべきだったというふうな意見を言っておきた
いと思います。ありがとうございます。

○議長（大野祐司君） ほかに質疑はございますか。よろしいですか。

（「なし」の声あり）

○議長（大野祐司君） 以上で質疑を打ち切ります。

これより討論に入ります。討論はありませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（大野祐司君） 以上で討論を打ち切ります。

これより採決いたします。

議案第2号、令和5年度ふじみ衛生組合補正予算（第2号）について、原案のとおり決
することに賛成の方の挙手を求めます。

（賛成者挙手）

○議長（大野祐司君） 満場一致と認めます。よって、本案は原案のとおり可決されま
した。

日程第6 議案第3号 令和6年度ふじみ衛生組合予算

○議長（大野祐司君） 続きまして、日程第6、議案第3号、令和6年度ふじみ衛生組
合予算を議題といたします。

事務局に提案の朗読をさせます。

上野事務局次長。

（事務局朗読）

○議長（大野祐司君） 朗読は終わりました。

続いて、管理者から提案理由の説明を求めます。

河村管理者。

○管理者（河村孝君） 議案第3号、令和6年度ふじみ衛生組合予算につきまして、提
案理由の説明を申し上げます。

ふじみ衛生組合は、構成市である三鷹市、調布市の両市民の可燃ごみ、不燃ごみ及び資
源物の適正な処理など、市民の皆様が安全・安心に生活していただくために、欠かすこと

ができない事業を行っております。

また、その運営は、市民の皆様のご理解に基づき、地域の環境を損ねることなく、適切に行われなければいけません。そして、この目的を達成するためのふじみ衛生組合が経営するごみ処理場の運営経費は、その大半が組織市の分担金で賄われておりますが、両市の行財政を取り巻く環境は、新型コロナウイルス感染症が収束しつつあるものの、今後も厳しい状況が続くことが予想されます。

そこで、この厳しい状況を認識いたしまして、ふじみ衛生組合の令和6年度の予算編成に当たりましては、歳入の効果的かつ積極的な確保を図りながら、運営経費のさらなる抑制に努めまして、組織市の健全な財政運営に資するとともに、安全で安定した施設運営に努めつつ、リサイクルセンターの更新事業を推進いたしまして、循環型社会の形成に向けた重要な役割を發揮できるように、創意工夫に努めたところでございます。

このような方針のもと、予算編成に取り組みました結果、令和6年度の歳入・歳出予算の総額は、歳入・歳出それぞれ32億2,044万6,000円で、前年度と比較いたしますと12億7,390万6,000円、約65.4%の増となっております。

なお、各款項別の予算内容につきましては、事務局長から詳細な説明をさせていただきますので、よろしくお願いたします。

提案理由の説明は以上のとおりでございます。どうぞよろしくご審議のほどお願い申し上げます。

○議長（大野祐司君） 荻原事務局長。

○事務局長（荻原正樹君） 議案第3号、令和6年度ふじみ衛生組合予算の詳細につきまして、ふじみ衛生組合予算及び同説明書に沿ってご説明をさせていただきます。

初めに、1ページをお開きください。令和6年度予算の構成につきましては、第1条、歳入歳出予算、第2条、債務負担行為及び第3条、地方債となっております。

2、3ページをお開きください。第1表、歳入歳出予算でございます。

款、項に区分した歳入歳出予算の内訳でございます。歳入歳出予算の総額は歳入歳出それぞれ32億2,044万6,000円で、前年度に比べ12億7,390万6,000円の増となっております。

詳細につきましては、事項別明細書によりまして、順次ご説明をいたします。

次に、4ページをお願いいたします。第2表、債務負担行為でございます。

まず、技術指導業務委託事業につきましては、(仮称)新リサイクルセンターの整備に当たり、廃棄物処理施設という特殊性に鑑み、専門的見地からの技術指導を業務委託する

もので、令和7年度から令和9年度まで、支出額1,188万円を限度とする債務負担行為を設定するものでございます。

次の、中央棟解体工事監理業務委託事業及び5つ目の中央棟解体工事につきましては、現在のリサイクルセンター中央棟の解体工事に係るもので、令和7年度まで、解体工事監理業務は支出額1,383万3,000円、解体工事は支出額3億4,043万円をそれぞれ限度とする債務負担行為を設定するものでございます。

3つ目の、(仮称)新リサイクルセンター施工管理業務委託事業につきましては、(仮称)新リサイクルセンター整備に係る施工管理業務で、令和7年度から令和10年度まで、支出額1億8,370万3,000円を限度とする債務負担行為を設定するものでございます。

4つ目の(仮称)新リサイクルセンター整備及び維持管理委託事業につきましては、先ほど管理者報告においてご説明いたしましたとおり、施設の建設につきましては、令和6年度から令和10年度まで、運営につきましては令和10年度から令和30年度までの20年間を予定しており、合計で209億円を見込んでおります。したがって、令和6年度当初予算に計上した建設費の前払い金の2億を控除した207億円につきましては、債務負担行為を設定するものでございます。

続きまして、第3表、地方債でございます。

(仮称)新リサイクルセンター建設工事、東棟・北棟改造工事及び中央棟解体工事の3件を対象とした起債でございまして、令和6年度は、限度額5億6,500万円を予定して、計上させていただくものでございます。

続きまして、予算の説明をさせていただきます。

6、7ページ、歳入歳出予算事項別明細書の総括をご覧ください。

まず、左側6ページ、歳入でございます。

その特徴を申し上げますと、リサイクルセンター更新事業の進捗に伴う事業費の増により、第1款分担金及び負担金が増額となりました。

同様に、事業費が増となることから、第5款繰入金においては施設整備基金の取崩しを、また、第8款組合債においては、地方債の活用を図ります。

その他の科目につきましては、実績を勘案し予算措置いたしました。

右側、7ページが歳出でございます。

その特徴を申し上げますと、リサイクルセンターの更新事業費及びクリーンプラザふじみ運営費の増に伴い、第3款事業費が増額となりました。

それでは、詳細の説明に移らせていただきます。初めに、歳入でございます。

8、9ページをご覧ください。第1款、分担金及び負担金でございます。

令和6年度の分賦金の総額は13億4,235万6,000円でございます。そのうち、三鷹市の分賦金につきましては、6億4,106万3,000円でございます。

次に、11ページをご覧ください。調布市の分賦金につきましては、7億129万3,000円でございます。

続きまして、14、15ページをご覧ください。第2款、使用料及び手数料でございます。

廃棄物処理手数料につきましては、前年度同様1万3,000トンの持込みごみの受入れによる4億5,500万円を見込んでおります。

総務使用料につきましては、組合用地使用料でございます。

続きまして、16、17ページをご覧ください。第3款、国庫支出金でございます。

右側説明欄をご覧ください。1、放射能測定に伴う補助金につきましては、焼却灰等の放射能測定に要する経費に対する補助でございます。対象となる経費は、焼却灰、飛灰、排ガスの試料採取及び分析でございます。

なお、10分の10の補助でございますが、43ページの放射能測定調査委託料が歳入の額を8万円上回っております。これは、補助対象とならない排水につきましても、地元との約束で測定を実施するためでございます。

続きまして、18、19ページをご覧ください。第4款、財産収入でございます。

施設整備基金の運用利子として50万2,000円を見込んでおります。

続きまして、20、21ページをご覧ください。第5款、繰入金でございます。

施設整備基金の取崩しにより、2億円を計上しております。

続きまして、22、23ページをご覧ください。第6款、繰越金でございます。

前年度と同額の2,000万円の計上でございます。

続きまして、24、25ページをご覧ください。第7款、諸収入でございます。

初めに、組合預金利子でございます。5,000円を見込んでおります。

次に、雑入でございます。説明欄をご覧ください。

1、有価物売払収入でございます。処理量は令和4年度実績、単価は直近の売払い実績の60%で見込みました。その結果、前年度に比べ984万3,000円増額の1億803万7,000円の計上となりました。

2、その他の雑入でございます。可燃ごみ処理施設売電収入につきましては、売電単価

の値下がりが見込まれることから、前年度に比べ596万5,000円減額の4億490万8,000円を計上いたしました。

三鷹中央防災公園・元気創造プラザへの温水供給収入につきましては、前年度と同額の250万円を見込み、43ページの温水供給委託料も同額を計上いたしました。

また、小平・村山・大和衛生組合の広域支援に伴う搬入ごみ受託収入につきましては、受入れ量の減少を見込み、前年度に比べ323万円減額の8,721万円を計上いたしました。

以上のようなことから、雑入といたしましては、前年度に比べ485万8,000円の増額となっております。

続きまして、26、27ページをご覧ください。第8款、組合債でございます。

新リサイクルセンター整備事業債として5億6,500万円を計上しております。内訳につきましては、(仮称)新リサイクルセンター建設工事で1億5,000万円、東棟・北棟改造工事で2億6,500万円、中央棟解体工事で1億5,000万円でございます。東京都区市町村振興基金からの借入を予定しており、借入条件は、3年据置き20年償還を予定しております。

歳入につきましては、以上でございます。

続きまして、歳出でございます。28、29ページをお開きください。

初めに、第1款、議会費でございます。

前年度とほぼ同額の665万6,000円を計上いたしました。

続きまして、30、31ページをご覧ください。第2款、総務費でございます。

前年度と比べ594万1,000円の増額となっております。

目1、一般管理費につきましては、主に組合運営に係る経費でございまして、前年度と比べ83万9,000円の増額となっております。この主な要因は、給与、期末・勤勉手当の改定等により職員人件費が増額となったことによるものでございます。

続きまして、34、35ページをご覧ください。

目2、環境学習・地域交流推進費は、施設見学等の環境学習及びイベントに要する経費でございまして、前年度と比べ460万2,000円の増額となっております。

この主な要因は、説明欄の1、環境学習推進費の上から6番目の啓発品購入費及び10番目の商標権更新登録手数料の増額によるものでございます。啓発品購入費につきましては、ペットボトル潰し器3年分でございます。リサイクルセンターの更新工事に伴いまして、ペットボトルを全量リサイクルすることが困難となります。そこで、社会科見学に来場される小学生にペットボトル潰し器を配布し、各家庭でペットボトルを潰してスーパーマー

ケット等へ持って行っていただくことにより、工事期間中におけるペットボトルのリサイクルの推進を図るものでございます。

また、商標権更新登録手数料につきましては、プラ美ちゃんなど6つのキャラクターについて、商標権の更新登録手続を行うものでございます。

次に、目3、施設整備基金費でございますが、実績を勘案し施設整備基金の利子相当額積立金50万2,000円を計上いたしました。

続きまして、36、37ページをご覧ください。第3款、事業費でございます。

総額につきましては、前年度と比べ12億7,383万7,000円の増額となりました。

第1項、ごみ処理場費、目1、ごみ処理場管理費につきましては、施設課職員人件費のほか、リサイクルセンター、クリーンプラザふじみ共通の管理経費でございます。前年度と比べ996万6,000円の増額となっております。

この主な要因でございますが、給与、期末・勤勉手当の改定等により、人件費が571万4,000円の増額となったこと及び説明欄の2、ごみ処理場事務関係費の上から9番目の災害廃棄物処理計画策定業務委託料385万円を新規に計上したことによるものでございます。

災害廃棄物処理計画につきましては、現在、三鷹市及び調布市において計画を策定中であり、その計画策定を受け、組合においても計画を策定するものでございます。その他の経費につきましては、多少の増減はございますが、例年と同様の予算計上となっております。

続きまして、38、39ページをご覧ください。目2、リサイクルセンター運営費でございます。前年度と比べ2,779万3,000円の増額となっております。

この主な要因でございますが、委託料全体で2,861万9,000円の増額となったことなどによるものでございます。

その主な内容といたしましては、説明欄1、維持管理運営費の上から14番目の廃マットレス処分委託料1,311万2,000円を新規に計上したこと、その下の不燃ごみ処理業務委託料が人件費等の上昇により1,144万3,000円の総額となったこと、並びに41ページ、説明欄の上から6番目の集塵脱臭設備活性炭交換業務委託料が隔年実施のため皆増となったことなどによるものでございます。廃マットレスにつきましては、現在、リサイクルセンターにおいて、解体・選別を行っておりますが、リサイクルセンター更新事業の進捗により保管するスペースがなくなることから、委託により適正処理を行うものでございます。

一方、本予算説明書では記載がなくなりましたが、金属資源市場の回復に伴い、小型家

電が有価で売却できることとなったため、廃小型家電再資源化業務委託料は皆減となりました。

その他の経費につきましては、多少の増減はございますが、例年と同様の予算計上となっております。

続きまして、42、43ページをご覧ください。目3、クリーンプラザふじみ運営費でございます。前年度と比べ3億8,399万6,000円の増額となっております。

この主な要因でございますが、委託料が3億8,848万9,000円の増額となったことなどによるものでございます。説明欄をご覧ください。

1、維持管理運営費の上から4番目の施設運營業務委託料につきましては、20年間の長期契約に基づく本年度分の支出額6億2,032万3,000円でございます。前年度に比べ3億8,372万8,000円の増額となっております。これは、施設稼働後12年目を迎え、排ガス処理設備の触媒の交換やバグフィルターのろ布の交換、焼却炉内の耐火物の補修などを行うためでございます。一方、歳入と連動する売電収入相当額委託料につきましては、先ほど歳入で申し上げましたとおり、売電単価の値下がりが見込まれることから、前年度に比べ417万5,000円減額し4億187万7,000円を計上いたしました。また、本予算説明書では、記載がなくなりましたが、今年度実施したLED導入に係る工事が皆減となっております。

その他の経費につきましては、多少の増減はございますが、例年と同様の予算計上となっております。

続きまして、44、45ページをご覧ください。

第2項、ごみ処理場建設費は、リサイクルセンター更新に係る経費でございます。

前年度と比べ8億5,208万2,000円の増額となっております。

この主な要因でございますが、45ページ説明欄の一番下の仮設電源設備引込等電気工事から47ページの説明欄記載の各工事に伴うものでございます。

47ページ、説明欄の上から2番目の（仮称）新リサイクルセンター建設工事の前払い金として2億円、その下、東棟・北棟改造工事として3億5,362万3,000円、その3つ下、中央棟解体工事の前払い金として2億円がそれぞれ皆増となり、付帯工場を含めた工事請負費全体では8億2,496万1,000円の増額となっております。また、仮設管理棟などのリースを開始することから、使用料及び賃借料全体で2,085万8,000円の増額を見込んでおります。

続きまして、48、49ページをご覧ください。第4款、公債費でございます。

前年度と比べ580万4,000円の減額となっております。

リサイクルセンターの設備更新のため、平成25年度に東京都区市町村振興基金から借り入れた組合債が償還を終えるため、減額となるものでございます。

続きまして、50、51ページをご覧ください。第5款、予備費でございます。予備費につきましては、前年度と同額の2,000万円の計上でございます。

歳出の説明につきましては、以上でございます。

続きまして、52ページをご覧ください。ここからは、給与費明細書でございます。

まず、52ページが特別職でございます。人数に変更はありませんが、審議会の開催回数
の減により、報酬が減額となっています。

53ページ以降は、一般職でございます。派遣職員等の給与費・共済費につきましては、
前年度に比べ491万1,000円の増額となっております。

また、会計年度任用職員につきましては、リサイクルセンター更新事業の本格化に伴う
1人の増員及び期末・勤勉手当の改定を見込み、前年度に比べ602万7,000円の増額とな
っております。

54ページから56ページにつきましては、それぞれの給与費の増減額の明細及び状況でご
ざいますので、ご覧いただければと存じます。

続きまして、58、59ページをお願いいたします。債務負担行為に関する調書ございま
す。新ごみ処理施設整備運営事業から中央棟解体工事までの計11事業で、令和6年度以降、
244億7,101万2,000円の支出予定となっております。

最後に、60ページが地方債の現在高見込みに関する調書でございます。令和6年度末の
地方債残高につきましては、11億6,054万9,000円となる見込みでございます。

議案第3号、令和6年度ふじみ衛生組合予算の説明については、以上でございます。ど
うぞよろしくをお願いいたします。

○議長（大野祐司君） これより質疑に入ります。質疑はありませんか。

谷口議員。

○7番（谷口敏也君） ご丁寧なご説明ありがとうございます。

私も結構ふじみが長くなっていよいよリサイクルセンターの工事が始まる年度予算が上
程されたなということで、まずは、いや、8月でしたっけ、不調にならないように祈るば
かりでございます。

その中で5点、細かい点になりますが、1問ずつ質問させてください。

まず、25ページなんですけれども、今回、先ほど来からの説明では廃小型家電とか廃携

帯電話のほうが有償ということになって非常に喜ばしいことなんですけれども、今回、今年度初めての予算だと思うんですが、廃パソコンってありますよね。パソコンって今まで、ちょっと調布市さんは分からないのですけれども、三鷹では集めていなかったというイメージ。なおかつ、国のほうの推奨で、リサイクル業者にパソコンは渡してくださいというような形になっていると思うのですが、今回58万7,000円の収入ということで計上されています。市として積極的にどうやって集めていくおつもりなのか、まず伺います。

○議長（大野祐司君） 荻原事務局長。

○事務局長（荻原正樹君） パソコンにつきましては、パソコンリサイクル法がございますので、原則はその法律に従ってそれぞれ出していただくのが原則でございますが、残念ながら、中には不燃ごみ等に紛れてパソコンが入ってきております。そういったものにつきまして、パソコンだけで売却できるようなことになりましたので、今回、予算として計上させていただくものでございます。

○議長（大野祐司君） 谷口議員。

○7番（谷口敏也君） ということは、広報なりとかで三鷹市でパソコンを回収しますということはないということですか。

○議長（大野祐司君） 荻原事務局長。

○事務局長（荻原正樹君） そのとおりでございます。原則、リサイクルカレンダーに書いてあるとおりに排出していただきたいというふうに考えているところでございます。

○議長（大野祐司君） 谷口議員。

○7番（谷口敏也君） 分かりました。ありがとうございます。

続いて、35ページ、先ほども説明がありました啓発品購入ということで、ペットボトルの潰し器、去年は30万8,000円で今回3年分をまとめてというようなお話でした。毎年計上してもいいと思うんですけれども、これはまとめることによって単価が安くなるとか、そういうことでしょうか。

○議長（大野祐司君） 荻原事務局長。

○事務局長（荻原正樹君） そのとおりでございます。まとめることによって安くなるということと、最低のロットというものがおりますので、それによるということです。

昨年度と今年度の予算計上の違いがございまして、昨年度は、潰し器は潰し器で買って、その潰し器に職員がエントツくんのシールを貼るという手作業で製品にしていたのですが、職員の人件費もばかにならないということがございまして、今回はシール貼りまで含めて

一括の発注となっております。

○議長（大野祐司君） 谷口議員。

○7番（谷口敏也君） 分かりました。ありがとうございます。

続いて、こちらも先ほどご説明がありました、37ページの災害廃棄物処理計画についてなんですけれども、実はたまたま我々全員幹事長で、市議会安否確認訓練、幹事長だけは参集するという訓練をついこの前やって、その後に川鍋さんからこの件について説明を受けました。三鷹市のほうでもかなり第1案が出てきて、調布市さんのほうが分からないんですけれども、それに基づいてふじみでも作るというようなお話でしたが、どういった内容になるのか、イメージ的には三鷹市ができて調布市も同じようにできていればそれに基づいて、両方すり合わせのような形で正直なところこのぐらいかかるのかなと思ったんですけれども、どういったものなのかを詳しく説明いただければと思います。

○議長（大野祐司君） 荻原事務局長。

○事務局長（荻原正樹君） 災害廃棄物処理計画につきましては、現在三鷹市及び調布市で策定を進めているわけなんですけれども、どのぐらいの災害廃棄物が発生して、一時保管場所としてどのようなところへ持っていくのかというところまでが三鷹市及び調布市の計画で、実際にそれをふじみに持ってきて、ふじみでどう処理をするのか、また、処理し切れない分についてはどう外部に出すのかといったあたりを今後ふじみのほうで作ることになります。

これは先ほど申し上げました循環型社会形成推進交付金をもらうに当たっての交付要件となっておりますので作成するものでございます。

○議長（大野祐司君） 谷口議員。

○7番（谷口敏也君） ありがとうございます。ちょうど今、能登半島の件で、市民の方々がそういうことに非常に関心があると思うので、例えば、策定段階からパブコメをやるとか、いろいろな方法で広報しながらやってもらいたいと思うんですけれども、その辺はどうお考えなのかお伺いします。

○議長（大野祐司君） 荻原事務局長。

○事務局長（荻原正樹君） 市の計画と違いまして、来たものをどうするかというところなので、市民の皆様が意見を言えるかどうか分かりませんが、一応その方面も考えて今後検討してまいりたいと思います。

○議長（大野祐司君） 谷口議員。

○7番（谷口敏也君） ありがとうございます。ぜひお願いします。

続けて、39ページなんですけど、廃マットの件は先ほどのご説明で分かりました。それよりも、6つ上の上下水道なんですけれども、去年が381万9,000円で来年度が493万円、かなり上がっているんですけど、これは値上げ分になりますよね。

○議長（大野祐司君） 荻原事務局長。

○事務局長（荻原正樹君） 上下水道ですけれども、おっしゃるとおり、去年が381万9,000円、今年が493万4,000ということで100万円上がっているのですが、実は、去年というか、5年度、上下水道の……。

○7番（谷口敏也君） 足りない？

○事務局長（荻原正樹君） 足りなくなりました。

○7番（谷口敏也君） 足りないのですか。そうなんだ。

○事務局長（荻原正樹君） 流用等により対応しておりますので、実績を勘案いたしまして増やしたものでございます。

○議長（大野祐司君） 谷口議員。

○7番（谷口敏也君） 足りないというのは、量を使っているのかどうかということと、値上げ分なのか、その辺はどう分析なされているのですか。

○議長（大野祐司君） 荻原事務局長。

○事務局長（荻原正樹君） 基本的には量が増えていると。

○7番（谷口敏也君） 量が増えているの？

○事務局長（荻原正樹君） はい。というふうにお考えいただければと思っています。

○議長（大野祐司君） 谷口議員。

○7番（谷口敏也君） それはなぜに量が増えるのですか。ごみの量減っているのでしょうか、だって。

○議長（大野祐司君） 荻原事務局長。

○事務局長（荻原正樹君） 私どもといたしましても、節水には努めているところでございますが、やはり処理工程において水を使うところが増えているのかなという気はしてはいます。

○7番（谷口敏也君） 本当に？

○事務局長（荻原正樹君） ええ。実際、水道のメーターの数字ですので、私どもとしてもできるだけ今後も節水に努めてはいきたいというふうには考えているところでござい

ます。

○議長（大野祐司君） 谷口議員。

○7番（谷口敏也君） ちょっと分析されたほうがいいのではないですかね。漏えいされている資料がどこかに漏れているような。

それでは、最後に、これなんですけれども、41ページの中段ちょっと上に、集塵脱臭設備の活性炭、これはもしかしたら何年間に1回あったのかもしれませんが、今回初めてというか、前年度にはなくて473万ある。何年間に1回あるとかでしたか。

○議長（大野祐司君） 荻原事務局長。

○事務局長（荻原正樹君） こちらは隔年でございますので、2年に1回、予算計上させていただきます。

○議長（大野祐司君） 谷口議員。

○7番（谷口敏也君） では、2年前はちょっと調べていなかったんですけれども、この金額というものはこんなものでしたっけ。

○議長（大野祐司君） 荻原事務局長。

○事務局長（荻原正樹君） 例年この程度の金額でございます。

○議長（大野祐司君） 谷口議員。

○7番（谷口敏也君） 分かりました。以上です。

○議長（大野祐司君） ほかに質疑はございませんか。

松野議員。

○3番（松野英夫君） ご説明ありがとうございました。

各視察先でも多く問題が目に見えていたのかなと思ったのが、リチウム電池の火災のことなんですけれども、今回こういったリチウム電池の火災等々の対応等々は予算のほうに盛り込まれているのでしょうか。

○議長（大野祐司君） 荻原事務局長。

○事務局長（荻原正樹君） リチウムイオン電池の予算は特に計上しておりませんが、ふじみ衛生組合とほかの自治体の違いは、ほかの自治体は不燃ごみ等について、細かく砕くという破碎機がついています。その細かく砕く機械の中でリチウム電池が発火するというような事例が多いというふうに認識しているところでございます。

ふじみ衛生組合では、以前はやはり同じように細かく砕く機械を使っていたのですが、現在はそれを止めまして、細かく砕かないまま、金属については、鉄であれば磁選機、磁

石に吸いつける、アルミであればアルミ選別機で取るというような形でやっていますので、基本的に発火しにくい状況は今でもできているというふうに思っております。ただ、最後、プレスする段階でどうしてもプレス機の中で、煙が出たり、ちょっと火花が飛んだりということはございますが、ほかの自治体と比べますと、その辺は既に対応を取っているというところがございます。

○議長（大野祐司君） 松野議員。

○3番（松野英夫君） ありがとうございます。引き続き職員の安全・安心も含めて対応していただければと思います。以上です。

○議長（大野祐司君） ほかに質疑はございませんか。

丸田議員。

○4番（丸田絵美君） ご説明ありがとうございます。

ちょっと確認なんですけれども、17ページの放射能測定の補助金、このときのご説明でこれは10分の10補助ということなんですけれども、それ以外に、排水に関しては個別にということで、この排水の事業というものはどこに計上されているのかなと思ったんですけれども、この43ページの放射能等のところがどこかにあったかな、測定調査委託費、ここにそれが含まれて、どこに入っているのか、ちょっとそれだけ教えていただいてもよろしいですか。

○議長（大野祐司君） 荻原事務局長。

○事務局長（荻原正樹君） 補助金と、実際の支出の関係でございますが、支出につきましては、今おっしゃっていただいたとおり、43ページ、1、維持管理運営費の上から8番目、放射能測定調査委託料、ここでございまして、その予算額が174万3,000円となっております。

一方、補助金につきましては、166万3,000円でございますので、174万3,000円から166万3,000円を引いた8万円が排水の経費ということになります。

○議長（大野祐司君） 丸田議員。

○4番（丸田絵美君） ご説明ありがとうございます。

○議長（大野祐司君） ほかに質疑ございますか。

野村議員。

○8番（野村羊子君） 結構谷口議員が細かい歳出のほうを聞いていただいたのですが、ちょっとそれも含めてです。

最初に4ページの債務負担行為、技術指導業務委託料とかがあります。これらは、新リサイクルセンターの整備にともなうというふうな説明がありました。もう既に来年度のこの予算の中に歳出として一部含まれているというふうに読んだのですが、つまり、既にこれは入札をかけて委託事業者が決まる、あるいは今年度別枠で新リサイクルセンターの整備、維持管理とはまた別に入札をして別の事業者が受託をして、実際にもう2024年度から業務を開始するというものとしてこの技術業務、自立指導業務委託事業と、もう一つ施工管理については、そのようなものとして受け止めていいのかということを確認したいと思います。

○議長（大野祐司君） 荻原事務局長。

○事務局長（荻原正樹君） 債務負担行為に書いてあります5つの事項につきましては、令和6年度の当初予算にも計上してあります。したがって、令和6年度中に契約を行います。契約期間が1年で終わらないものがこちら債務負担行為として書いてあります。長期に契約する必要があることから、7年度以降の分について債務負担行為として設定させていただいているものです。合計の金額といたしますと、6年度の当初予算の金額プラスこちらの債務負担行為の金額、合わせていただいたものが実際の前年度額となります。

○議長（大野祐司君） 野村議員。

○8番（野村羊子君） それは当然分かるのですけれども、ですから、新リサイクルセンター整備維持管理の事業者とは全く別の事業者をそれぞれ入札をかけ、選定をするのかということを確認します。

○議長（大野祐司君） 荻原事務局長。

○事務局長（荻原正樹君） そのとおりでございます。

○議長（大野祐司君） 野村議員。

○8番（野村羊子君） 分かりました。きちんとしたその指導業務とか、その辺のあたりの今後の本当にリサイクルセンター更新に当たっての重要なところになってくると思うので、施工管理にしても、きちんと第三者的な立場で指導なり、管理なりしていただきたいということで、業者選定をきちんとやっていただければと思います。

そのあと、同じような点、やはり昨年度との比較をしていると引っかけるところが谷口議員と同じかなというふうに思いながら伺っていましたが、ペットボトルの潰し器、35ページの話、ロットでシール貼りを含めたもの、ふじみ独自のものということは分かり

ました。

ですが、今年度から始めて、これの効果、これだけお金をかけてやる効果というものをどのように見て、要するに今後3年間これをやるんだというふうな判断に至るのかというところの考え方と、併せて、リサイクルセンターの建設に当たってペットボトルが全量できないからお店等とかに持って行っていただきたいというふうな普及啓発をするといいますが、それ以外に両市の土地をお借りして、ペットボトルを置く場所は借りられないかという話が過去ありました。その辺のことについて、進捗状況があるのか、今回の予算の中にそのための土地の整備なり、あるいは使用するなりということは見当たらないように思ったのですが、どうなっていますでしょうか。

○議長（大野祐司君） 荻原事務局長。

○事務局長（荻原正樹君） 1点目のペットボトル潰し器の効果でございますが、社会科見学に来る小学生がそのあとに感想文を書いてきてくれまして、それを今廊下に貼っているところですが、その中にもたくさんのペットボトル潰し器で潰してスーパーへ持って行っています、家族でまたもう1台買いましたとか、いろいろ感想が書いてありまして、効果が非常に高いのではないかというふうに分析しているところでございます。

2点目のペットボトルを保管するための借地料等の関係ですが、今のところ、三鷹市、調布市とも協議をしておりますが、具体的な用地は見つかっていないということで、この予算の中にも計上しておりません。

以上です。

○議長（大野祐司君） 野村議員。

○8番（野村羊子君） ペットボトルはできるだけ焼却しないでリサイクルできるように引き続き努力していただければというふうに思います。

それで、37ページの先ほどあった廃棄物処理計画ですけれども、循環型交付金を受ける要件だということで来年度作らざるを得ないということは分かりましたが、実際はやっぱりその新しい新リサイクルセンターに合わせて、それをどう稼働しながらこれをしていくのかというふうな計画になるべきではないかというふうに思ったのですが、それを見込んだ計画をするのか、今からそれが現状ないものを見込んだ計画というのが可能なのか、あるいはできてから更新をかけるということになるのか、その辺りの考え方をお願いします。

○議長（大野祐司君） 荻原事務局長。

○事務局長（荻原正樹君） 新しいリサイクルセンターの概要というものは既に私ども

のほうでも作成しているところでございます、新しいリサイクルセンターの中には災害廃棄物の一時保管場所、そういったものも設置する予定でございますので、新しいリサイクルセンターを見込んだ計画にしたいというふうに考えているところでございます。

○議長（大野祐司君） 野村議員。

○8番（野村羊子君） それまで災害が来ないといいなというのは感想として置かせていただきますが、でも、それはそれで必要なことだと思います。それによって、逆に言えば、それができる、新リサイクルセンターができることによって三鷹、調布のほうの運搬の在り方とかというのも変わってくるのではないかと思います、その辺の調整等、両市との対応、検討をちゃんとすり合わせてやっていただければと思います。

もう一つ、39ページの廃マットレスですが、これは先ほどのご説明によれば、つまり、リサイクルセンターの建設の期間の間だけ、3年間限りの限定だというふうに見ていいのか、それとも今後ずっとこのような形でお金をかけながら処理するのか、その処理が単なる焼却等でなくリサイクルになるような方向の処分なのかということをお願いします。

○議長（大野祐司君） 荻原事務局長。

○事務局長（荻原正樹君） 廃マットレスの関係ですが、基本的には工事期間中のみの対応ということで、新しいリサイクルセンターができればまた新しいリサイクルセンターのほうで処理ができるというふうを考えております。なお、単に焼却ということではございません。それぞれ金属については金属でリサイクルをいたしますということで、今、そういう業者さんの選定を進めているところでございます。

○議長（大野祐司君） 野村議員。

○8番（野村羊子君） 最後に47ページ、（仮称）新リサイクルセンター建設工事にかかるということで、前払い金が上がっています。ただ、200億に対して2億の前払いというふうなことで、これが妥当な金額というか、今年度着手するに当たっての金額というふうなことになるのか、金額の妥当性をどのように考えたのかということをお伺いします。

○議長（大野祐司君） 荻原事務局長。

○事務局長（荻原正樹君） ふじみ衛生組合では契約関係につきましても、従来から三鷹市に準じているところでございます、三鷹市の契約事務規則において上限2億円となっておりますので、その上限の2億円を計上したものでございます。

○議長（大野祐司君） 野村議員。

○8番（野村羊子君） 分かりました。いいです。

○議長（大野祐司君） ほかに質疑はございませんか。

大城議員。

○10番（大城美幸君） 質問しようと思ったことは丁寧にご説明と、あと質疑があったのですが、ちょっとなかったところだけ質問します。

初めに、今、能登の廃棄物とかがあると思うのですが、職員はボランティアに派遣したりしていますけれども、東日本のときは受け入れましたよね。そういう能登の、そのごみの受入れということは今何も来ていないのか、だから予算に入らないのか、この間、結構全国で毎年のように災害があるので、ごみの他のところからの受け入れというものも想定することも必要かなとも思うのですが、その辺の考えをお聞かせいただきたいと思います。

○議長（大野祐司君） 荻原事務局長。

○事務局長（荻原正樹君） 能登半島の地震の災害廃棄物の件でございますが、東日本大震災、それから宮城県の大崎市の水害のときもそうだったんですが、基本的には都道府県でまず調整を行います。どこの県からどこの都道府県を持っていくのかということが決まりますと、あとはその都道府県の中において具体的にこの施設で何トン、この施設で何トンというふうに振り分けが来ます。

今現在、まだ東京都からそういった具体的なお話は来ておりませんので、令和6年度予算については、その辺の予算は計上していないというところでございます。

○議長（大野祐司君） 大城議員。

○10番（大城美幸君） では、東京都からの要請があった時点で補正なり、何かを組むということでしょうか。

○議長（大野祐司君） 荻原事務局長。

○事務局長（荻原正樹君） そのとおりでございます。

○議長（大野祐司君） 大城議員。

○10番（大城美幸君） あと2つあるのですが、先ほどの補正では売電の単価が値上がりをしたからということで補正を組まれました。でも、予算では売電単価は下がるということでのご説明でしたが、その根拠を教えてくださいたいと思います。

○議長（大野祐司君） 荻原事務局長。

○事務局長（荻原正樹君） 売電単価の変動でございますけれども、一番大きな影響が東京電力エナジーパートナーというところを出しているんですが、燃料調整費という費用でございます。

皆さんのイメージで一番分かりやすいのが、飛行機に乗るときの燃油サーチャージと同じでございまして、本体価格に対して幾ら上乗せするというような、または幾ら引くというようなものが燃料調整単価でございまして、2022年度から2023年度にかけまして、それがぐっと上がったんです。ですので、例えば、電力料金の本体が1キロワットアワー当たり10円だったとしても上乗せが例えば10円あって20円になるというような時期が今年度で、今回補正予算を組ませていただいたところですが、この燃料費、調整単価が今急激に下がっておりまして、とても来年度は同額は見込めないということで、来年度予算については値下がりを見込んだ予算というふうにさせていただいております。東京電力エナジーパートナーのホームページにも毎月の単価が出ておりますので、ご覧いただければと存じます。

○議長（大野祐司君） 大城議員。

○10番（大城美幸君） 最後ですが、43ページなんですが、環境モニタリング調査業務委託料、放射能測定調査委託料、焼却灰等分析業務委託料、先ほどの説明では例年と同等みたいなことで細かいことはおっしゃらなかったんですが、この環境モニタリング調査の項目という詳細が分かれば教えていただきたいのと、その調査は年に何回行って、結果、市民への周知ということがどうなっているのか、どうするのか、やはり近隣住民、特にその環境に対する思いというものがあると思うので質問します。

○議長（大野祐司君） 荻原事務局長。

○事務局長（荻原正樹君） 環境モニタリング調査の内容でございまして、騒音、振動、臭気、それからあと周辺の大気質、具体的には南浦小と調布市はしいの木公園でやっていますが、そういったものが中心の調査でございまして、項目によりまして3か月に1回ですとか、半年に1回という形で調査を行っております。

この広報でございましてけれども、ふじみ衛生組合のホームページに掲載するとともに、広報ふじみ衛生組合、また、地元の皆様には三調だよりということで広報に努めているところでございます。

○議長（大野祐司君） 大城議員。

○10番（大城美幸君） この今、騒音、臭気、大気汚染とおっしゃったんですが、その環境のモニタリングで市民からの何か苦情とか要望とかがあった場合、何かほかの自治体等で追加して調べることが必要なことが出たら、それには対応するという姿勢があるかどうか確認します。

○議長（大野祐司君） 荻原事務局長。

○事務局長（荻原正樹君） 現在の環境調査は地元の皆様とお話をさせていただいた項目でございますので、周辺の自治体から比べましても、かなり多項目をやっております。ただ、さらに、要望があった場合にはその要望に応じて、調査項目を増やしていきたいというふうには考えているところでございます。

○議長（大野祐司君） 大城議員。

○10番（大城美幸君） ありがとうございます。

○議長（大野祐司君） ほかに質疑はございませんか。よろしいですか。

（「なし」の声あり）

○議長（大野祐司君） 以上で質疑を打ち切ります。

これより討論に入ります。討論はありませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（大野祐司君） 以上で討論を打ち切ります。

これより採決いたします。

議案第3号、令和6年度ふじみ衛生組合予算について、原案のとおり決することに賛成の方の挙手を求めます。

（賛成者挙手）

○議長（大野祐司君） 満場一致と認めます。よって、本案は原案のとおり可決されました。

以上で、本日の日程は全て終了いたしました。

それでは、これで会議を閉じます。

これにて、令和6年第1回ふじみ衛生組合議会定例会を閉会いたします。

本日はお疲れさまでございました。

午前11時34分閉会

以上会議の顛末を書き、その相違ない
ことを証するためにここに署名する。

令和6年2月22日

ふじみ衛生組合議会議長

大野 祐司

ふじみ衛生組合議員 2番

澤井 慧

ふじみ衛生組合議員 8番

野村 幸子

